

令和3年度

決算報告書

自 令和 3年（2021年） 4月 1日

至 令和 4年（2022年） 3月31日

公立大学法人熊本県立大学

令和3年度 決算報告書

公立大学法人熊本県立大学

(単位:千円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,507,617	1,480,658	△ 26,959	(注1)
自己収入	1,277,246	1,305,117	27,871	
授業料収入	996,415	1,004,861	8,446	(注2)
入学金収入	123,148	133,025	9,877	(注3)
検定料収入	41,873	39,882	△ 1,991	(注4)
受託研究等収入	35,666	74,761	39,095	(注5)
寄附金収入	11,154	8,655	△ 2,499	(注6)
補助金等収入	17,915	15,685	△ 2,230	(注7)
雑収入	51,075	28,248	△ 22,827	(注8)
目的積立金取崩	180,679	36,820	△ 143,859	(注9)
計	2,965,542	2,822,595	△ 142,947	
支出				
教育研究経費	2,164,941	1,970,951	△ 193,990	(注10)
一般管理費	764,935	727,479	△ 37,456	(注11)
受託研究費等	35,666	41,947	6,281	(注12)
計	2,965,542	2,740,378	△ 225,164	
収入 - 支出	0	82,218	82,218	

※ 決算額及び差額は、それぞれの欄の金額を個別に円単位まで算出し、その結果を千円未満の単位で四捨五入して表示していますので、合計金額と一致しない場合があります。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、修学支援法による授業料等減免分が予算上の見込に比較して減免該当者が少なかったこと及び新型コロナウイルスの影響による海外交流事業の中止等により、決算額が26,959千円少額となっております。
- (注2) 授業料収入については、修学支援法による授業料減免の実績減により、予算額に比較して受入額が上回ったため、決算額が8,446千円多額となっております。
- (注3) 入学金収入については、修学支援法による入学金減免の実績減により、予算額に比較して受入額が上回ったため、決算額が9,877千円多額となっております。
- (注4) 検定料収入については、予定していた受験者数を下回ったため、決算額が1,991千円少額となっております。
- (注5) 受託研究等収入については、予定していた受入額を上回ったため、予算額に比して決算額が39,095千円多額となっております。
- (注6) 寄附金収入については、予定していた受入額を下回ったため、予算額に比して決算額が2,499千円少額となっております。
- (注7) 補助金等収入については、予定していた受入額を下回ったため、予算額に比して決算額が2,230千円少額となっております。
- (注8) 雑収入については、新型コロナウイルスの影響による公開講座の開催減による受講料収入の減等により、予算額に比して決算額が22,827千円少額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、大ホール空調設備改修工事の竣工が令和4年度となったこと及び将来の支出に備えた目的積立金の取崩を極力抑制したことにより、予算額に比して取崩額が下回ったため、決算額が143,859千円少額となっております。
- (注10) 教育研究経費については、人件費の減に加え、新型コロナウイルスの影響による教職員の旅費交通費の減、学生フィールドワーク及び海外交流事業の中止等により、決算額が193,990千円少額となっております。
- (注11) 一般管理費については、人件費の減や各種節減等により、予算額に比して決算額が37,456千円少額となっております。
- (注12) 受託研究費等については、契約額の増により予定していた支出額を上回ったため、予算額に比して決算額が6,281千円多額となっております。